

安全データシート

整理番号 【564-2】

制定日 2014/05/15

改訂日 2016/08/30

1. 製品および会社情報

製品

製品名 パワークイックサビ除去剤S

供給者情報

会社 サラヤ株式会社

住所 大阪府大阪市東住吉区湯里2-2-8

担当部門 営業本部

電話番号 06-6797-2525

緊急時連絡番号 06-6705-1013

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性 : 区分2

皮膚感作性 : 区分1

GHSのラベル要素

絵表示又はシンボル: 感嘆符

注意喚起語: 警告

危険有害性情報: 皮膚刺激、アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き:

【安全対策】

取り扱い後は手をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

粉じん、煙、ガス、ミスト、スプレーの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

【応急処置】

皮膚についての場合: 多量の水で洗うこと。

特別な措置が必要である(4. 応急措置を参考にする)。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察、手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【廃棄】

内容物、容器を自治体のルールに従い廃棄すること。

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分：カルボン酸塩、界面活性剤

化学名または一般名：

チオグリコール酸アンモニウム (CAS NO, 5421-46-5) 10～20%含有

4. 応急処置

皮膚についた場合：流水で十分に洗い流す。異常が残る場合は医師に相談する。

眼に入った場合：流水で十分に洗い流す。異常が残る場合は医師に相談する。

飲み込んだ場合：水を飲むなどの処置をする。異常が残る場合は医師に相談する。

5. 火災時の措置

消火剤：泡、粉末、炭酸ガスなど。

消火方法：通常は燃焼しないが、万一、周辺の状況により燃焼した場合は、上記の消火剤による。

6. 漏出時の措置

少量の場合は、布切れ等で拭き取り、大量の場合は、蓋付空容器へ回収する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

- ・器具を浸漬する際は、完全に浸漬する。
- ・浸漬容器はプラスチック製のフタ付き容器を使用する。
- ・用途以外には使用しない。
- ・小児の手の届かないところに保管する。
- ・他の薬剤・洗浄剤等とは混ぜない。
- ・作業時は必ず手袋、マスク、ガウン、ゴーグルなどの防護具を着用する。
- ・他の容器に移し替えて使用しない。
- ・キャップを開けるときの液が飛び出す恐れがある。また容器を移動するときは、キャップをしっかり閉める。緩んでいると、液が跳ねて目や皮ふにつく恐れがある。
- ・倒れたり、こぼれたりすることのないような場所に保管する。
- ・使用後、容器に残らないよう十分に水洗いする。水洗が不十分な場合、素材によって

は変色を生じる場合がある。

- ・ステンレス以外の材質には使用しない。
- ・ステンレスの材質によっては表面光沢が低下するものがあるので注意する。
- ・換気の良い場所で使用する。

保管

適切な保管条件：

- ・直射日光を避けなるべく涼しい場所で保管する。
-

8. 暴露防止措置および保護措置

設備対策：情報なし

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：設定されていない。

保護具：必ず防護メガネ、およびゴム手袋を着用する。

9. 物理的および化学的性質

外観：無色～微黄色透明液体

臭い：原料臭

pH：6.0～8.0

比重：1.074（20℃）

10. 安定性および反応性

安定性：常温においては安定である。

危険有害性反応可能性：情報なし

11. 有害情報

急性毒性：区分外

皮膚腐食性/刺激性：区分2（皮膚刺激）

眼に対する重篤な損傷/刺激性：区分外

呼吸器感作性/皮膚感作性：区分1（アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ）

変異原性：分類できない

発がん性：分類できない

生殖毒性：分類できない

特定標的臓器/全身毒性－単回暴露：分類できない

特定標的臓器/全身毒性－反復暴露：分類できない

吸引性呼吸器有害性：分類できない
催奇形性：分類できない
代謝：分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性：情報なし
残留性・分解性：情報なし
生体蓄積性：情報なし
土壌中の移動性：情報なし

ノニルフェノール系非イオン界面活性剤を含め、環境庁が内分泌攪乱物質（いわゆる環境ホルモン）と位置付けした 指定物質は一切配合していない。

13. 廃棄上の注意

「7. 取り扱いおよび保管上の注意」の項を参照のこと
残余廃棄物：大量の水で希釈し処理する。あるいは、廃棄物業者に処理を依頼する。
使用済容器：管轄自治体のルールに従って、処理する。

14. 輸送上の注意

「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと
国際規制
国連分類：該当なし
国連番号：該当なし
引火性液体に該当しない。
運搬する場合には、飛散、漏洩、流出、又は浸出を防ぐのに必要な措置を講じなければならない。

15. 適応法令

労働安全衛生法（安衛法）：通知対象物質に該当しない。
化学物質管理促進法（P R T R法）：該当しない。

16. その他の情報

参考文献

GHS混合物判定ツール（経済産業省）

- この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
 - 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
 - 注意事項は通常取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
 - すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
-